

岡山議員の質問①ペイオフ制度の完全実施 に対する六ヶ所村の対応策について

吉川 長

の回答

ペイオフ制度は、本年4月1日から、全面解禁となります。その対策として、村では昨年11月に出納室が事務局となり各基金担当課長を委員とする「六ヶ所村公金安全確保対策検討委員会」を立ち上げ、対応策について、検討を重ねてまいったところであり、検討委員会で、無利息で全額が保護される決裁用預金への移行、預金と借入金を相殺できるように見直す手続き取引のある金融機関の情報収集の強化、国債で管理する方法を慎重に審議したところ、当分の間は取引金融機関の情報収集を強化し、現行のままの体制で臨

むのが良いとの結論に達したところであり、また、12月1日付けで「六ヶ所村資金管理並びに運用基準」と「六ヶ所村債権運用指針」を策定し、より公金管理の安全性を図ることといたしました。

現在、指定金融機関のみちのく銀行、指定代理金融機関の青森銀行、青森県信用組合の三行は金融庁が定めている自己資本比率もそれぞれクリアし、経営状態は良好であるとのこととあります。

なお、村の普通預金及び約67億円ある各種基金を含む定期預金は、この三行に分散して預金しており、その利息も年間約2百万円前後に達し、貴重な一般財源となっております。今後の三行の情報収集強化に努め、その動向を見極めつつ、対応して参りたいと考えております。いずれにしても、公金の取り扱いについては、より安全に管理し、運用することが肝要であるとの認識で対応する所存ですので、ご理解を賜わりたいと存じます。

まとめ知識

ペイオフ制度とは

ペイオフ制度とは、銀行、信用金庫などの金融機関が破綻した場合、その金融機関に預けていた預金のうち、上限一千万円とそれに対応する利息が最低限保証される制度です。

モニタリングとは

監視、観察、記録することです。この場合ですと、貯蔵されているガラス固化体をあらゆるデータを元に日常的に監視し、異常な状態となっていないかどうかを確認し続ける事を意味します。

岡山議員は、これだけではなく、ガラス固化体を実際に目で見て正常な状態であることを確認する事により、村民の皆様にもっと安心していただけるのでは？との考えから今回一般質問いたしました。